



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 226
January
2012

トピックス

お知らせ

アジア防災センター新
所長の就任挨拶

関係機関との防災協力
推進

第2回専門家会合「巨
大津波災害の教訓に学
ぶ」

Asian Disaster
Reduction Center
アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2012

●お知らせ

アジア防災センター新所長の就任挨拶

あけましておめでとうございます。
2012年1月10日付けでアジア防災センター
(ADRC) 所長に就任しました名執潔 (なとり
きよし) と申します。新年の挨拶とあわせまし
て、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、東北地方を中心に甚大な被害が発生
した3月11日の東日本大震災により、我が国は
もちろん、世界にとっても忘れ難い年になっ
てしまいました。もちろん我が国以外にも、夏以
降にはタイなどの東南アジアを中心に洪水被害
が拡大しました。さらに、10月にはトルコ東部で大規模地震が発生し、数
多くの自然災害により、多くの尊い人命が失われ、また、人々の貴重な財
産も失われました。

東日本大震災は、その規模や広がりにおいて、これまでにない大きなも
のであり、被災地復興は長期間を要するものと考えられています。日本が
今回の得られた教訓や、今後の自然災害に対する対策など、日本国内から
より積極的に情報発信していくことが重要であると考えられます。ADRC
としても、防災を通じてアジア各国の持続的発展に貢献できるよう、常に
質の高い活動を提供していく所存です。

それでは、引き続き皆様のご支援ならびにご協力を賜りますよう、どう
ぞよろしくお願い申し上げます。

【略歴】

1984年国土庁(現国土交通省)入庁。国土庁計画・調整局、同大都市圏整
備局、名古屋大学(工学部助教授)、国土交通省国土計画局(計画官)、
内閣府防災担当(災害予防担当企画官及び参事官)等において勤務。



●関係機関との防災協力推進

第2回専門家会合「巨大津波災害の教訓に学ぶ」

2011年3月に発生した東日本大震災を受けて、ADRCでは、昨年12月
に、内閣府、国連アジア太平洋経済社会委員会、国際協力機構、JICA、国
際復興支援プラットフォームとともに第2回専門家会合「巨大津波災害の
教訓に学ぶ」を東京で開催いたしました。昨年5月に開催した第1回専門
家会合「東日本大震災からの創造的復興に向けて」に引き続き、今回の震
災対応及びその後の地震・津波防災対策の見直しを通じて得られた知見を
共有するとともに、各国の防災対策の動向について、国際機関(国連諸機
関、世界銀行等)や各国政府の専門家、日本の各専門家が発表や意見交換
を行いました。

続き

次に示すプログラムの通り、全体会合では、被災地から野田釜石市長、中央防災会議座長の河田関西大学教授、国際機関や各国政府の専門家、日本の各専門家が、発表や意見交換を行い、防災や復旧・復興などのテーマに分かれて分科会で議論を深めました。第2回専門家会合では、傍聴も含めて約110名が参加し、本専門家会合終了後、12月17～18日にかけて、約70名の専門家が岩手県の宮古市や釜石市などの被災地を視察しました。この視察においては、岩手県庁の加藤総務部長や釜石市東中学校の斉藤先生の時間を頂戴し発災時の対応や被災地の状況等を説明していただきました。



[第2回専門家会合]

【プログラム概要】

12月16日（金）

全体会合Ⅰ	基調講演：「中央防災会議専門調査会報告」専門調査会座長／河田関西大学教授 特別報告：「東日本大震災からの復旧復興」岩手県野田釜石市長 海外からの報告：ミャンマー、世界気象機関
分科会Ⅰ	3分科会に分かれてテーマ別の発表・討議 ①防災教育・早期警戒 ②インフラストラクチャ・社会のレジリエンス ③被災者支援、復旧・復興

12月17日（土）

分科会Ⅱ	3分科会に分かれて討議・意見集約
全体会合Ⅱ	分科会意見集約結果発表 閉会挨拶：内閣府

会議の成果は、サマリーや分科会ごとのレポートとして、取りまとめられました。分科会では、啓発・防災教育を継続的な枠組みへどのように取り込んでいくか、ICTなどを活用した多機能なインフラ整備と防災計画の主流化、災害対応と復興のギャップをどのように埋めていくか、などについて議論が深められました。サマリーや分科会ごとのレポートなどにつきましては、下記のホームページをご参照下さい。

(http://www.bousai.go.jp/kyoryoku/geje_exgmeeting.html)

東日本大震災からの創造的復興に向けて、海外および国内の専門家によるサポートは欠かす事が出来ません。また、次の災害に備えるために、巨大災害からの復興の教訓を国内外で共有することが求められています。海外および国内の専門家による会合を通じて、貴重な情報交換・意見交換が行われたことで、今後の世界の防災活動における海外と日本の連携の深化が期待されています。

[被災地視察（宮古市）]



問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。